

071 仙台・青葉山山麓の砂防と都市環境・景観形成について

宮城県土木部砂防水資源課 星野 和彦 伊東 東 高橋 雄治 佐々木健志
 (財) 砂防7077整備推進機構 板垣 治 ○大矢 幸司

はじめに

青葉山山麓は市街地に近接していながら、蕃山、太白山周辺は県自然環境保全地域、緑地環境保全地域に指定され、良好な自然環境が保たれた緑地が分布し、これらの緑地に連なる八木山、青葉山にも比較的緑地環境が保たれている。しかし八木山、青葉山のかつての丘陵地は宅地化が進行し、緑地は分断され島状に残存している。緑地は保全緑地として指定されているが、急斜面で居住地として接している場合が多く、潜在的な災害危険地帯となっている。また、市街地から若干離れた、丘陵地も大型宅地開発により大規模に造成されるケースも生まれており、樹林帯の虫食い状態の傾向がでてきた。このような課題を解決するために、開発抑止に係わる各規制等の運用を図ると共に、安全でかつ良好な自然環境を有する都市山麓の実現を目指す必要性がでてきた。

仙台市は「杜の都仙台」をテーマとして様々なまちづくりの取り組みの中で、都市山麓の環境保全と創造、市街地の安全を図る土砂災害抑止を目的としているグリーンベルトを当山麓を中心に企画した。これを受け、県では市の上位計画等を尊重し、仙台青葉山都市山麓グリーンベルト計画を策定することとした。

(図-1、写真-1、2、参照)

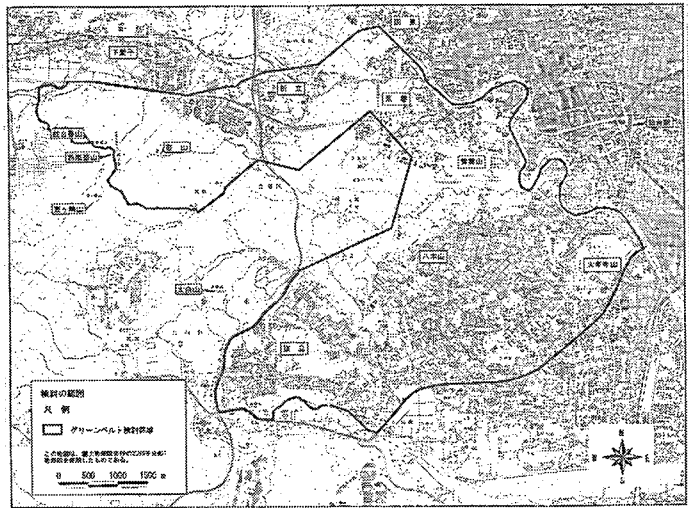


図-1 仙台・青葉山都市山麓グリーンベルト対象区域

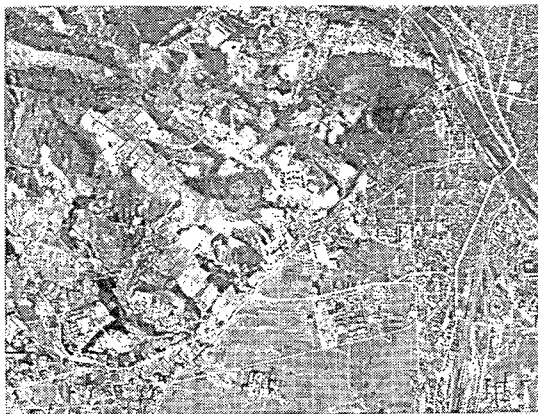


写真-1 S31年八木山山麓周辺(青葉山南地区) 写真-2 H9年八木山山麓周辺
 (出典：せんだい空中写真集～杜の都のいま、むかし～H13/3/31発行 仙台市)

1. 仙台市の都市環境における青葉山麓

青葉山には青葉城趾、公園、東北大学、山麓麓の広瀬川等があり、杜の都仙台としてのシンボル空間として存在している。また、八木山、青葉山、太白山地域には、「治山の森」や「青葉の森」「太白山自然観察の森」等の自然と親しむことのできる緑地空間、遊歩道が整備されている。これらの環境は中心市街地に近いことから、市民に文化的で貴重な緑地空間の場を提供している。青葉山麓の緑地は重要なまちづくり資源であり、将来に継承すべきものとして存在している。これらを永続的に良好な緑地環境として保全するためには、緑地としての担保力を持つ現行指定や規制を強化すると共に、こうした規制・指定からもれている緑地を包含する新たな規制が必要となる。

2. 都市景観における青葉山山麓

仙台市は「グリーンプラン21」や「百年の杜づくり行動計画」において市街地の並木屋敷林、公園、丘陵地森林等を連携して保全し、街の緑の骨格を形成する方針を示している。そして森林の適正な管理のもと、環境資源、文化資源として価値を高めていくことを目指している。

青葉山山麓は奥羽山脈のゲート及び、市街地背後の里山として杜の都のシンボルゾーンとして仙台の都市景観の文脈の一部形成し、市民のふるさとの原風景としても存在し、また青葉山及び山麓の高台は市街地や我が家を見下ろす日和見山として郷土を認識する景観保有の場としても重要になっている。

これら貴重で親しみのある山麓斜面の緑地を保全することが、仙台の都市景観を継承していくこととなる。

(図-2 参照)

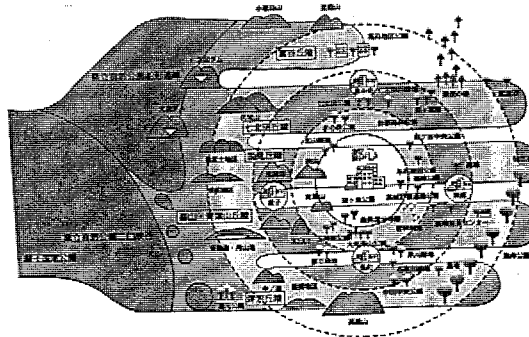


図-2 緑の環と緑の手の概念図

(出典：H11.11 仙台市百年の杜づくり行動計画)

3. 砂防における青葉山山麓

対象となる青葉山周辺山麓には、18 渓流の土石流危険渓流、107 箇所急傾斜地崩壊危険箇所、12 箇所の地すべり危険箇所が存在している。これらは仙台市の約半数を占め、整備率も低い状況にある。蕃山丘陵北部には砂防指定地が連なり、これらに面した市街地は土砂災害の脅威があり、青葉山北部、大年寺山等は地滑りの危険地帯になっており、その対策が進められている。八木山に広がる住宅地には、造成により取り残された急傾斜地は崖対策が進められている。今後、こうした山麓部の市街化が進めば更に危険箇所の増大を招くことも懸念され、更に広瀬川沿いの危険箇所斜面崩壊の発生によっては広瀬川の閉塞を招く危険もある。青葉山麓一体は砂防事業等不可欠な地域になっている。

山麓地域全体の安全性や適正な土地利用、市街化の適正な誘導、規制を都市行政部局と連携を図り、山麓を所管する中心的な砂防部局が市街地の安全を図るため、その山麓における緑地保全による防災対策と都市緑地の環境保全に機能する新たな砂防事業を展開することは、今後の砂防における大きな役割の一つに掲げられる。(図-3 参照)

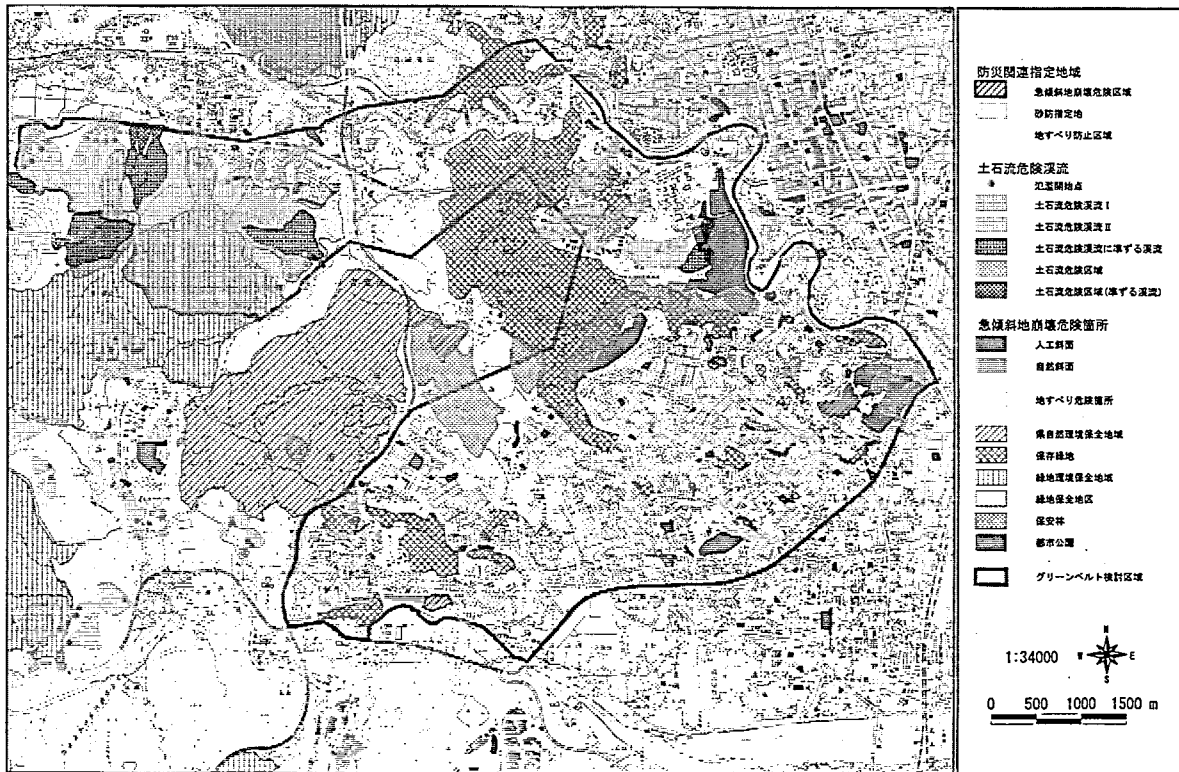


図-3 防災関連指定等状況(H14/3 月現在：仙台・青葉山都市山麓グリーンベルト計画検討業務基礎資料より)

まとめ

仙台市が進めるまちづくりや環境づくりとの連携を図り、山麓に近接する市街地の安全性を高める土砂災害対策と山麓の貴重な自然環境(樹林)を保全・管理し、連続した樹林帯を永続的に確保して、市街地の適切な誘導・規制に効果が期待できる青葉山都市山麓グリーンベルトは、宮城県の砂防にとって新たな都市防災と都市環境づくりに貢献するパイロット的業務としての大きな使命と役割を持っている。また、今回の検討区域には、山麓に広がった既成市街地が含まれており、土砂災害防止法や都市計画法との連携・調整を踏まえ検討を進めている。